

# なるほどよくわかる 病気あれこれ

## 【第61回】末梢挿入式中心静脈カテーテル（PICC：ピック）のお話

食物を口から食べることができない場合、抗がん剤などの刺激の強い薬剤を使用する時、点滴をするための手や足の血管が見つげにくく、また在宅療養などで6日間以上継続して点滴加療が必要な方に中心静脈という心臓の近くの太い血管の中にカテーテル（管）を入れて点滴を行う方法です。

末梢挿入式中心静脈カテーテル（peripherally inserted central venous catheter：PICC）とは上腕あるいは大腿中部の静脈から刺して点滴を行います。上腕や大腿中部からの穿刺であり皮膚温の低さや常在菌の少なさから感染の危険が少なく長期間の留置に期待があります。現在、当院入院中の患者さんで1年以上継続して高カロリー輸液を行っている方もいます（2020年11月末現在）。

### ～主にPICCをお勧めの方の例～

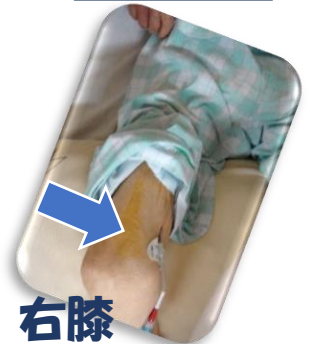
- ① 在宅療養などで6日間以上継続して点滴加療が必要な方
- ② 点滴をするための血管が見えにくい方
- ③ 抗がん剤などで長期間点滴が必要な方
- ④ CVポート（点滴の連結部を埋め込み点滴をする方法）に抵抗がある方
- ⑤ 胃瘻などの栄養の方法に抵抗がある方

上腕PICC



左肘

大腿PICC



右膝

### ●●PICCの効果●●

長期間治療が必要な場合でも末梢点滴の様に定期的な入れ替えは不要であり何度も針を刺されるといった苦痛がありません。上腕や大腿中部から挿入するために、鎖骨部、頸部、鼠径部から穿刺の中心静脈に比べて肺などの主要臓器や大きな血管などを傷つける心配は無い上に、感染発生の危険も少ないとデータはありますが、感染発生は決してゼロではありませんので慎重な管理が必要です。

PICCを用いて点滴だけでは無く輸血や採血も可能です。

在宅などで血管確保が困難な方がおられましたら、当院でPICC留置を行っておりますので、医療相談室までご相談ください。

内科 目黒 英二

## 訪問栄養指導を開始

当院では、令和2年10月より訪問栄養指導を始めました。

訪問栄養指導とは、通院が困難な方のために、医師の指示に基づき管理栄養士が定期的に訪問し「栄養」や「食事」に関する指導を行います。

例えば、「食欲がなくなってきた」「上手に飲み込めなくなった」「糖尿病だけど何を食ったらいいのかわからない」などのお悩みはありませんか？

訪問栄養指導では、個々の状態に合わせた食事内容や食事形態を提案し、患者さまやご家族が無理なく実践できるようサポートいたします。

医療保険・介護保険が利用できます。ご利用の対象となるかは、事前に相談が必要となります。ご不明な点等ございましたら、栄養科までお問い合わせください。

栄養科 係長 恒本 優子

